

平成27年度 地域貢献活動支援報告書

所 属 国際交流センター教授
氏 名 福岡昌子

活動テーマ	「地域の外国籍児童のための日本語支援」
実施期間	平成27年 7月 10日 ～ 平成28年 3月 15日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・独立行政法人子ども夢基金事業 2014年度採択事業「外国籍児童のための文法・文型積み上げ式のデジタル日本語教材開発」(2016年3月までNET配信)により作成した『子どもの日本語1. 2. 3.』を使って、地域で支援の必要な集住地区に、本学で実施したボランティア教員養成課程を修了した教員を定期的に派遣し、外国籍児童のための日本語支援を行った。 <p>(2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与, 広がり)</p> <ul style="list-style-type: none">・教材や支援内容については、鈴鹿市教育委員会や鈴鹿市国際交流協会、鈴鹿国際大学と地域貢献の方法について数度検討会を開き、今後の支援方法について打合せを行った。 <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none">・高茶屋小学校校長はじめ関係教員と支援開始前には実施内容について、実施後は実施結果に関する打合せを行い、実施過程においては適宜連携を図った。 <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度子どもゆめ基金事業には残念ながら採択されなかったが、平成28年度科学研究費電子図書出版枠に応募した。 <p>また、日本語教材出版関係者より出版化の方向性を探っている状況である。</p>

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

- ・2015年7月～2016年3月

高茶屋小学校では、約30名近くの外国籍児童に教材を用いて指導を行った。

- ・2015年7月～2016年3月

鈴鹿市教育委員会、鈴鹿国際大学、鈴鹿国際交流協会と地域貢献方法について検討を行った。

- ・2015年11月

愛知県浄水市ブラジル人学校で打合せを行い、2016年に本教材を使った指導を行う予定であったが、経費不足となり次年度に実施することとした。

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

- ・外国籍児童への継続的な日本語支援を9ヶ月に渡り実施できた。
- ・研究開発している教材の有効性について、その効果を確認できた。
- ・鈴鹿市など他地域貢献に向けての指導方法について、行政と支援方法について検討することができた。

(7) 今後の課題

- ・今後も、これまでに地域貢献を行ってきた現行体制、即ち、主婦や退職者を対象にボランティア日本語教師養成を行い、その修了者を外国籍児童が通う外国人学習者に派遣し、初期支援だけではなく、長期にわたって日本語力が必要な外国籍児童に指導していくこの「日本語支援体制」を継続していきたい。